

第 7 回水稻病害虫発生予察結果(伊豆市内)



4 月下旬～5 月上旬田植えの早生品種(コシヒカリ・ひとめぼれ等)

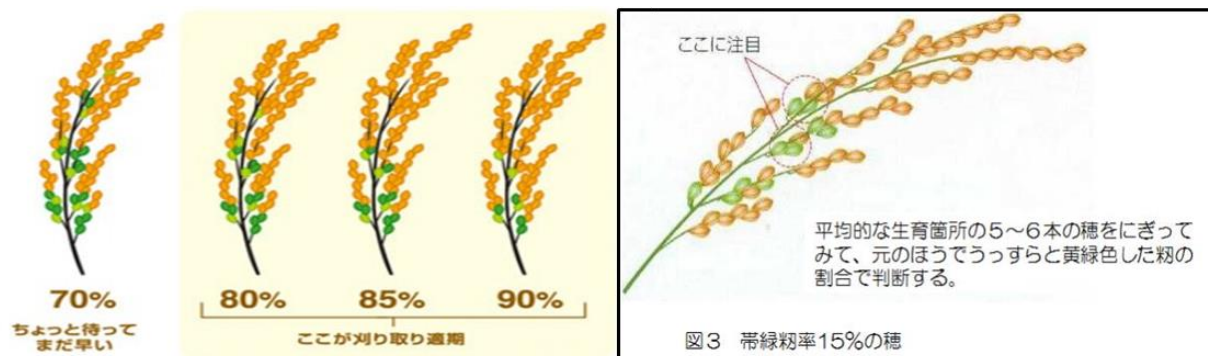
【生育状況と栽培管理】

各地区では籾の登熟が進んでおり、巡回を行っている田んぼでは積算温度で計算するとあと数日で刈取適期を向かえる予測です。あくまでも予測となりますので、ご自身の田んぼの収穫日については籾の色を確認し刈取り時期の決定を行ってください。

刈取が遅くなると未熟米は減り玄米量は増えますが、着色米や胴割米の割合が多くなる原因となり、品質を落とす原因となります。籾の黄化具合による刈取り適期の判断方法は以下の図を参考にしてください。

刈取り適期の判断目安

(籾の 80%～90%程度が黄化し、穂の元に緑色の籾が一部残っている頃)



各地区の早生品種の出穂が確認出来てからの積算温度は以下の通りとなります。

(8 月 19 日時点更新)

地区 温度・出穂	原保	門野原	北又	大平
積算温度 (℃)	931.6	762.6	852.8	856.4
出穂期からの平均気温	26.6	27.2	27.5	27.6
出穂期	7/16	7/23	7/20	7/20
積算による刈取り適期 の目安	8/22	8/29	8/25	8/25

※積算温度と出穂確認日は JA が行っている、各地区の巡回圃場での計測値となります。

※刈取日の目安は現在の平均気温を積算し 1,000℃となる日を設定しております。

5月中旬～下旬田植えの中晩生品種(きぬむすめ・あいちのかおり SBL 等)

【生育状況と栽培管理】

中生品種につきましては穂揃期となっており、晩生品種につきましては穂ばらみ～出穂が始まったころとなります。玄米の生育には水と酸素が必要となりますので、間断灌水の水管理を行うようにしてください。詳しくは第3回水稻病虫害発生予察をご参照ください。

【病虫害の発生状況】

巡回を行っている、多くはありませんがカメムシやウンカなどの病虫害を確認しております。中晩生品種の防除時期ではカメムシも増殖や成長しておりますので、薬剤防除を行い、被害を減少させるようお願いいたします。カメムシの防除方法につきましては第4回水稻病虫害発生予察結果をご参考ください。

【今後の水稻病虫害発生予察について】

今年度の定期的な水稻病虫害発生予察は終了となりますが、ウンカの大量発生情報等がありましたら、FM伊豆やJAふじ伊豆ホームページなどを通じて告知いたしますのでご確認ください。

**前回の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！**



作成日：令和8年8月20日

JAふじ伊豆修善寺営農経済センター

担当：竹村

電話：0558-72-4461